

1) 目的語としてののはたらき

例) play tennis (テニスをする)

to play tennis (テニスをすること)

\* 動詞(原形)の前に to を置くと、「～すること」と名詞の働きをする。

\* like to(～することが好きだ)

\* want to(～したい)

例) I like to play tennis.(私はテニスをすることが好きです)

例) I want to be a teacher.(私は教師になりたい。)

be 動詞の不定詞は to be で、to is などとはしない。

\* start to(～しはじめる), begin to(～しはじめる), try to (～しようとする)

need to(～する必要がある), hope to(～したい)

[問題](日本語訳)

1. I like to read a book.
2. He likes to swim in the river.
3. I want to eat an apple.
4. Do you want to play the piano?

[解答]

1. 私は本を読むことが好きだ。
2. 彼は川で泳ぐことが好きだ。
3. 私はりんごを食べたい。
4. あなたはピアノを弾きたいですか。

2) 主語, 補語としてののはたらき

例) To read this book is easy. (この本を読むことはやさしい。)(主語)

例) My dream is to be a doctor. (私の夢は医者になることです。)(補語)